



2025年度第3四半期 決算説明資料

東ソー株式会社

2026年2月5日

目次

■ 2025年度第3四半期業績

決算概要	4
連結対象会社・主要指標	5
売上高・営業利益分析（セグメント別）	6
業績概要	7
営業外損益及び特別損益等	11
連結貸借対照表（要約）	12
連結キャッシュ・フロー計算書（要約）	13

■ 2025年度通期業績予想

業績予想概要	15
売上高・営業利益（セグメント別）	16
連結業績推移	17
株主還元	18

■ 参考

連結売上高・営業利益（中期経営計画の事業ポートフォリオ別）	20
-------------------------------	----

2025年度第3四半期業績



決算概要

(単位：億円)

	24年度 1Q-3Q	25年度 1Q-3Q	増減	
売上高	7,957	7,561	△ 396	– : ナフサ価格や主要製品の海外市況下落に伴い販売価格が下落 – : 南陽事業所の定修差に伴う生産量の減少により出荷減少 – : 石油化学製品の需要減少により販売数量が減少
営業利益	746	699	△ 47	+ : エンジニアリング事業の売上拡大 + : 交易条件の改善（原燃料価格下落>販売価格下落） – : 在庫受払差の悪化、固定費の増加
経常利益	825	770	△ 56	
親会社株主に帰属する四半期純利益	485	246	△ 239	– : トーソー・SMD, Inc.の固定資産に係る減損損失を2Qに計上

為替レート [TTM期中平均]	(円/USD)	152.6	148.7	△ 3.9
	(円/EUR)	164.9	171.8	7.0
国産ナフサ	(円/KL)	76,367	65,033	△ 11,334
ベンゼン	(USD/T)	979	707	△ 272
PVC	(USD/T)	759	642	△ 117
VCM	(USD/T)	618	513	△ 106
液体苛性ソーダ	(USD/T)	470	439	△ 31
MDI (モノメリック)	(USD/T)	1,938	1,747	△ 191
MDI (ポリメリック)	(USD/T)	1,853	1,672	△ 181

連結対象会社・主要指標

連結対象会社

(単位：社)

	24年度 1Q-3Q	25年度 1Q-3Q	増減	内訳
連結子会社	92	89	△ 3	- : PTラウタン・オルガノ・ウォーター（工） 共栄産業（株）（他） 東洋ポリマー（株）（石）
持分法会社	14	15	1	+ : PTラウタン・オルガノ・ウォーター（工）
連結対象会社	106	104	△ 2	

石：石油化学 工：エンジニアリング 他：その他

主要指標

(単位：億円)

	24年度 1Q-3Q	25年度 1Q-3Q	増減
設備投資額	652	589	△ 62
減価償却費	331	345	14
研究開発費	160	167	7
有利子負債	2,111	2,144	33
金融収支	1	1	0
自己資本比率 (%)	61.3	59.8	△ 1.5
従業員数 (人)	14,729	14,874	145

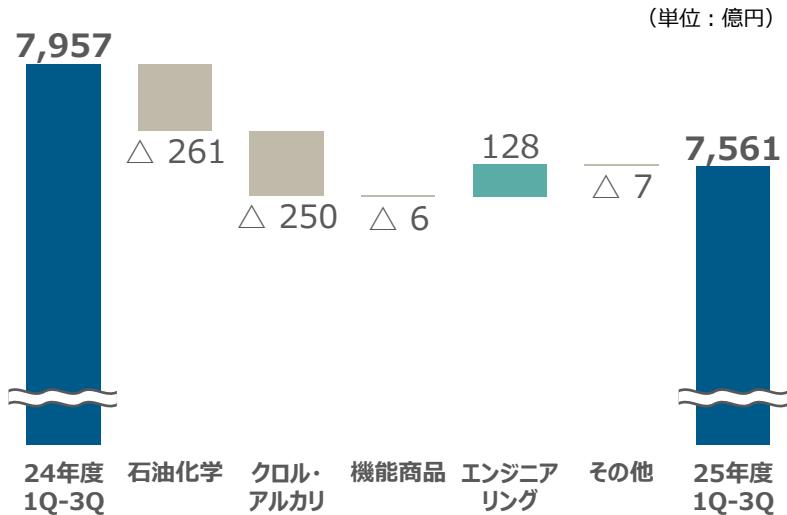
(注) 有利子負債にはリース債務を含む

売上高・営業利益分析 - セグメント別

(単位：億円)

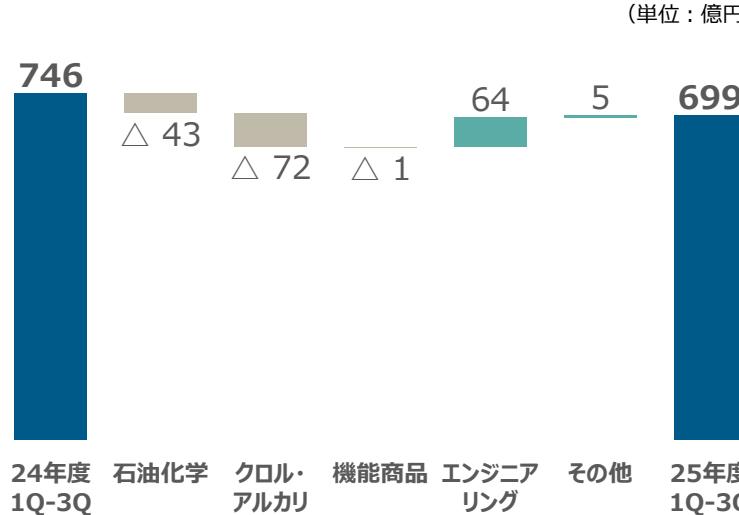
	売上高		増減要因			
	24年度 1Q-3Q	25年度 1Q-3Q	増減	数量差	価格差	うち為替の影響
石油化学	1,591	1,330	△ 261	△ 84	△ 177	△ 8
クロル・アルカリ	2,788	2,538	△ 250	△ 77	△ 173	△ 33
機能商品	2,032	2,026	△ 6	25	△ 31	△ 22
エンジニアリング	1,200	1,328	128	127	1	1
その他	346	338	△ 7	△ 8	0	0
合 計	7,957	7,561	△ 396	△ 17	△ 379	△ 61

売上高分析



	営業利益			増減要因		
	24年度 1Q-3Q	25年度 1Q-3Q	増減	数量差	交易条件	固定費差他
石油化学	124	81	△ 43	△ 20	3	△ 27
クロル・アルカリ	73	1	△ 72	△ 31	36	△ 78
機能商品	313	311	△ 1	11	10	△ 22
エンジニアリング	214	278	64	64	0	0
その他	22	28	5	5	0	0
合 計	746	699	△ 47	30	49	△ 126

営業利益分析



業績概要 - 石油化学事業

(単位：億円)

	売上高		増減要因			
	24年度 1Q-3Q	25年度 1Q-3Q	増減	数量差	価格差	うち為替 の影響
オレフィン	997	774	△ 224	△ 50	△ 173	△ 6
ポリマー	594	557	△ 37	△ 33	△ 4	△ 2
合 計	1,591	1,330	△ 261	△ 84	△ 177	△ 8

(単位：億円)

	営業利益		増減要因			
	24年度 1Q-3Q	25年度 1Q-3Q	増減	数量差	交易 条件	固定費 差他
石油化学事業	124	81	△ 43	△ 20	3	△ 27

<オレフィン>

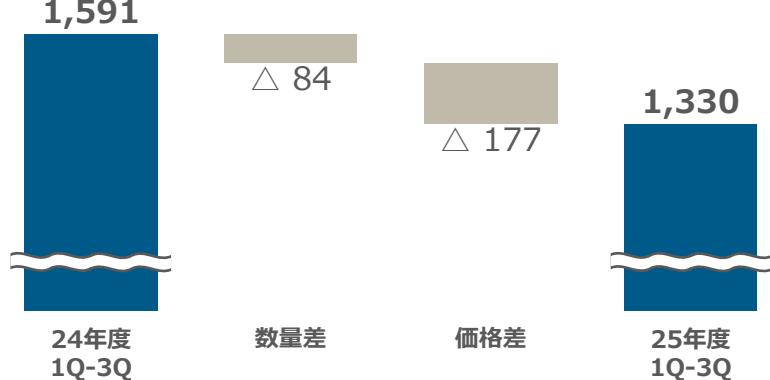
- ・エチレン及びプロピレンは、四日市事業所エチレンプラントの非定修年ではあったが、コンビナート内の需要減少により生産量及び出荷量は減少
- ・キュメンは、非定修年ではあったが、需要減少により出荷は減少
- ・エチレン及びプロピレンは、ナフサ価格の下落により販売価格は下落
- ・キュメンは、海外市況下落の影響を受け販売価格は下落

<ポリマー>

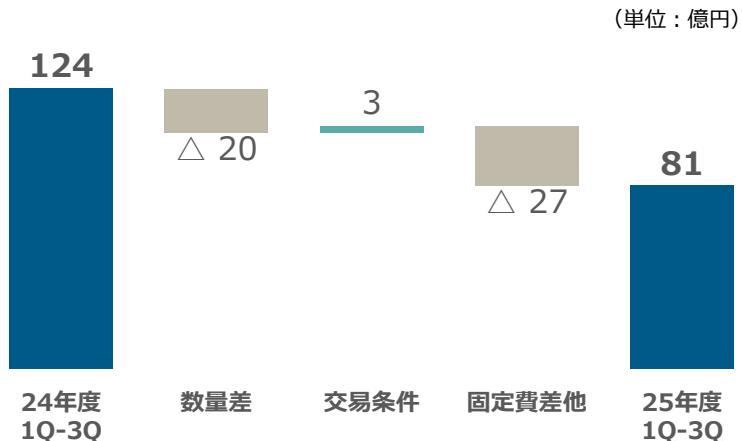
- ・ポリエチレン樹脂の内需は、需要が低調なため出荷が減少、輸出はEVA樹脂の海外市況が悪化しているため出荷が減少、ナフサ価格の下落により、ポリエチレン樹脂の販売価格は下落
- ・クロロブレンゴムは、米国の関税の影響と一部地域の需要低調により出荷が減少、価格は正により販売価格は上昇

出荷の減少や在庫受払差の悪化などにより減益

売上高分析



営業利益分析



業績概要 - クロル・アルカリ事業

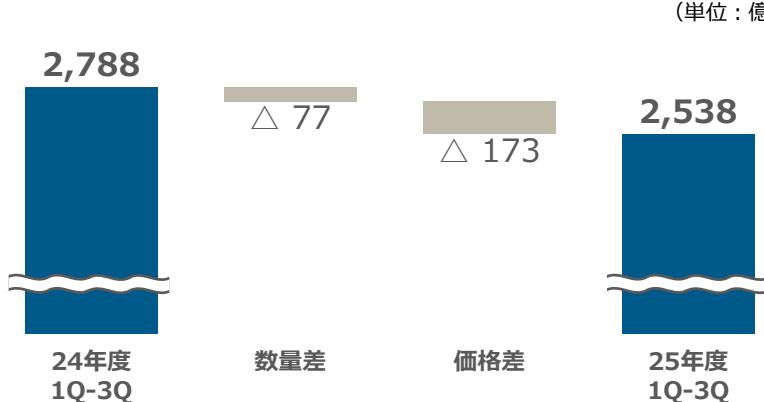
(単位：億円)

	売上高		増減要因			
	24年度 1Q-3Q	25年度 1Q-3Q	増減	数量差	価格差	うち為替 の影響
化学品	1,634	1,474	△ 160	△ 35	△ 125	△ 17
ウレタン	1,077	982	△ 95	△ 40	△ 56	△ 15
セメント	77	82	5	△ 2	8	0
合 計	2,788	2,538	△ 250	△ 77	△ 173	△ 33

(単位：億円)

	営業利益		増減要因			
	24年度 1Q-3Q	25年度 1Q-3Q	増減	数量差	交易 条件	固定費 差他
クロル・ アルカリ事業	73	1	△ 72	△ 31	36	△ 78

売上高分析



<化学品>

- ・苛性ソーダは、南陽事業所の定期修繕規模の違いによる生産量の減少に伴い出荷が減少、海外市況も下落
- ・塩化ビニルモノマーは、南陽事業所の定期修繕規模の違いによる生産量の減少に伴い出荷が減少、塩化ビニル樹脂は海外出荷が増加、海外市況の下落により塩ビ製品の海外向け販売価格は下落

<ウレタン>

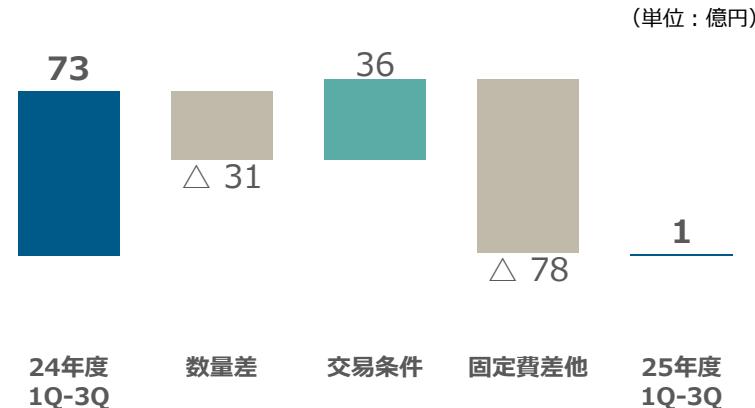
- ・ジフェニルメタンジイソシアネート（MDI）は、南陽事業所の定期修繕規模の違いによる生産量の減少により出荷が減少、海外市況の下落及び為替の影響により販売価格は下落
- ・ヘキサメチレンジイソシアネート（HDI）系硬化剤は、市況の低迷に伴い販売価格が下落、出荷も減少

<セメント>

- ・需要低調により出荷が減少、国内販売価格は上昇

原燃料価格の下落により苛性ソーダやMDIの交易条件が改善したものの、出荷の減少、在庫受払差の悪化や固定費の増加により減益

営業利益分析



業績概要 - 機能商品事業

(単位：億円)

	売上高		増減要因			
	24年度 1Q-3Q	25年度 1Q-3Q	増減	数量差	価格差	うち為替 の影響
有機化成品	559	558	0	17	△ 17	△ 9
バイオサイエンス	513	496	△ 17	△ 12	△ 6	△ 7
高機能材料	960	971	11	20	△ 8	△ 6
合 計	2,032	2,026	△ 6	25	△ 31	△ 22

(単位：億円)

	営業利益		増減要因			
	24年度 1Q-3Q	25年度 1Q-3Q	増減	数量差	交易 条件	固定費 差他
機能商品事業	313	311	△ 1	11	10	△ 22

<有機化成品>

- ・エチレンアミンは、前年同期並みの出荷、海外市況の下落や為替の影響により販売価格は下落
- ・臭素・難燃剤は出荷が増加し、海外市況の上昇により販売価格は上昇

<バイオサイエンス>

- ・計測関連商品は、欧米で液体クロマトグラフィー用充填剤の出荷が減少
- ・診断関連商品は、中国で体外診断用医薬品の出荷が減少

<高機能材料>

- ・ハイシリカゼオライトは、北米向け石油化学用途や中国・インド向け自動車用途の出荷が増加、構成差により販売価格は下落
- ・ジルコニアは、出荷が堅調に推移したが、構成差や為替の影響で販売価格は下落
- ・石英ガラスは、海外において半導体用途の出荷が減少したが、液晶用途の設備事故の影響が解消し全体としては出荷が増加
- ・スペッタリングターゲットは、海外において出荷が増加、構成差や為替の影響により販売価格は下落
- ・電解二酸化マンガンは、欧州地域での出荷が増加、アジア地域での出荷が減少し、全体としては出荷が減少

在庫受払差の悪化や固定費の増加により減益

売上高分析

(単位：億円)



営業利益分析

(単位：億円)





業績概要 - エンジニアリング事業・その他事業

(単位：億円)

	売上高		増減要因			
	24年度 1Q-3Q	25年度 1Q-3Q	増減	数量差	価格差	うち為替 の影響
エンジニアリング 事業	1,200	1,328	128	127	1	1

<エンジニアリング>

- ・水処理エンジニアリング事業は、台湾、米国において先端半導体関連の大型案件が順調に進捗したことに加え、日本においても前年までに受注した大型工事が進捗したほか、設備保有型サービスや各種のメンテナンスなどソリューション案件も好調に推移したことから、売上高が増加
- ・建設子会社の売上高は増加

	営業利益		増減要因			
	24年度 1Q-3Q	25年度 1Q-3Q	増減	数量差	交易 条件	固定費 差他
エンジニアリング 事業	214	278	64	64	0	0

水処理エンジニアリング事業の売上高増加により増益

(単位：億円)

	売上高		増減要因			
	24年度 1Q-3Q	25年度 1Q-3Q	増減	数量差	価格差	うち為替 の影響
その他事業	346	338	△ 7	△ 8	0	0

<その他>

- ・運送・倉庫、検査・分析、情報処理等その他事業会社の売上高は減少

	営業利益		増減要因			
	24年度 1Q-3Q	25年度 1Q-3Q	増減	数量差	交易 条件	固定費 差他
その他事業	22	28	5	5	0	0



営業外損益 及び 特別損益等

(単位：億円)

	24年度 1Q-3Q	25年度 1Q-3Q	増減
営業利益	746	699	△ 47
金融収支	1	1	0
為替差損益	37	41	4
持分法損益	24	21	△ 3
その他	17	8	△ 9
営業外損益	79	71	△ 9
経常利益	825	770	△ 56
固定資産売却益	2	0	△ 2
投資有価証券売却益	16	24	8
固定資産売却損	△ 1	0	1
固定資産除却損	△ 15	△ 12	3
減損損失	0	△ 192	△ 192
その他	0	1	1
特別損益	2	△ 179	△ 181
法人税等	△ 264	△ 243	21
非支配株主に帰属する四半期純利益	△ 78	△ 101	△ 23
親会社株主に帰属する四半期純利益	485	246	△ 239

連結貸借対照表（要約）

(単位：億円)

	25年 3月末	25年 12月末	増減		25年 3月末	25年 12月末	増減
資産	13,273	13,443	170	負債	4,249	4,608	359
現金及び預金	1,415	1,364	△ 51	支払手形及び買掛金	1,175	1,223	48
受取手形及び売掛金他	2,959	2,950	△ 9	有利子負債	1,858	2,144	286
棚卸資産	2,478	2,610	132	引当金他	1,216	1,240	25
その他流動資産	691	668	△ 23	純資産	9,024	8,836	△ 189
有形・無形固定資産	4,317	4,329	12	資本金	552	552	-
投資有価証券	701	780	79	資本剰余金	443	445	1
その他投資等	711	741	31	利益剰余金他	7,276	7,037	△ 239
資産合計	13,273	13,443	170	非支配株主持分	753	803	49
				負債・純資産合計	13,273	13,443	170

(注) 有利子負債にはリース債務を含む

<前期末比>

総資産：現金及び預金等の減少も、仕掛品、投資有価証券の増加等により増加

負債：長期借入金の増加等により増加

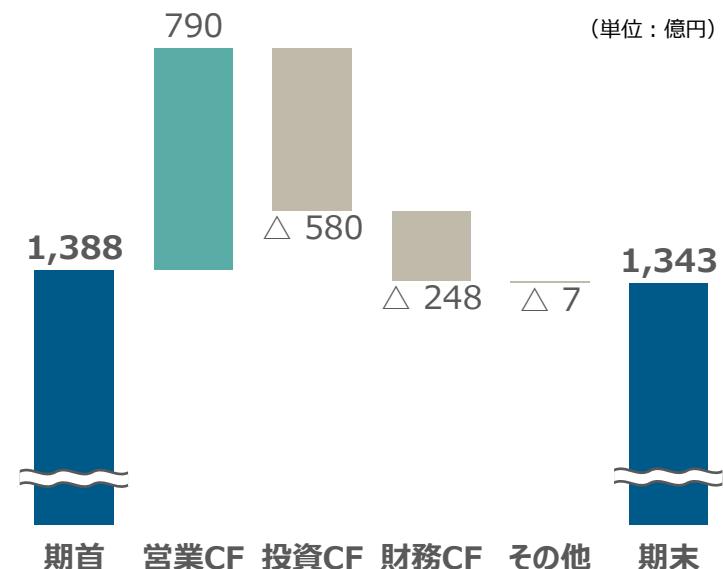
純資産：配当金の支払、自己株式の取得、為替換算調整勘定の減少等により減少

連結キャッシュ・フロー計算書（要約）

(単位：億円)

		24年度 1Q-3Q	25年度 1Q-3Q	増減
営業キャッシュ・フロー	税引前四半期純利益	827	590	△ 237
	減価償却費	344	359	15
	法人税等	△ 301	△ 205	96
	その他	△ 338	46	384
	計	532	790	257
投資キャッシュ・フロー		△ 702	△ 580	122
フリー・キャッシュ・フロー		△ 169	210	379
財務キャッシュ・フロー	借入金	278	321	43
	配当金	△ 302	△ 317	△ 15
	その他	△ 42	△ 251	△ 208
	計	△ 67	△ 248	△ 181
現金及び現金同等物に係る換算差額		26	△ 7	△ 34
増減		△ 210	△ 45	165
現金及び現金同等物（期首）		1,490	1,388	△ 101
現金及び現金同等物（期末）		1,280	1,343	64

(単位：億円)



<前年同期比>

営業CF：税金等調整前四半期純利益の減少、売上債権の減少、仕入債務の増加等

投資CF：設備投資による支出の減少等

財務CF：自己株式の取得等

2025年度通期業績予想



業績予想概要

※25/11/04公表値

(単位：億円)

	24年度	25年度 (予想)	増減	25年度 (前回予想※)	前回比
売上高	10,634	10,100	△ 534	10,200	△ 100
営業利益	989	900	△ 89	1,030	△ 130
経常利益	1,030	940	△ 90	1,030	△ 90
親会社株主に帰属する当期純利益	580	300	△ 280	380	△ 80
為替レート [TTM期中平均]	(円/USD) (円/EUR)	152.6 163.9	150.0 173.9	△ 2.6 10.0	145.5 169.0
国産ナフサ	(円/KL)	75,625	64,525	△ 11,100	64,375
ベンゼン	(USD/T)	953	670～730	-	700～800
PVC	(USD/T)	745	600～660	-	600～700
VCM	(USD/T)	595	450～510	-	450～550
液体苛性ソーダ	(USD/T)	479	400～460	-	400～500
MDI (モノメリック)	(USD/T)	1,930	1,650～1,750	-	1,700～1,850
MDI (ポリメリック)	(USD/T)	1,893	1,650～1,750	-	1,700～1,850

＜前回比＞

主要製品市況下落の影響が為替円安の影響を上回ったことによる販売価格の下落、需要低迷による販売数量の減少により石油化学事業とクロル・アルカリ事業の売上高・営業利益が前回予想を下回る見込み。

半導体関連製品の業績回復の遅れ等から機能商品事業においても売上高・営業利益が前回予想を下回る見込み。

経常利益、純利益も、営業利益の悪化に伴い前回予想を下回る見込み。



売上高・営業利益 - セグメント別

(単位：億円)

	売上高			
	24年度	25年度 (予想)	増減	
石油化学	2,048	1,686	△ 362	キュメン等の販売数量減、ナフサ等原燃料価格の下落に伴う販売価格下落
クロル・アルカリ	3,734	3,430	△ 305	南陽事業所の定修差による販売数量減少、海外市況低迷
機能商品	2,705	2,695	△ 10	エチレンアミンの市況下落、バイオ製品の販売数量減少
エンジニアリング	1,693	1,833	140	水処理事業において電子産業分野の大型案件を中心に高水準の受注残高を抱えており、順調な工事進捗を見込む
その他	454	456	2	
合 計	10,634	10,100	△ 534	

(単位：億円)

	営業利益			
	24年度	25年度 (予想)	増減	
石油化学	143	85	△ 58	販売数量の減少、在庫受払差の悪化、修繕費など固定費増加
クロル・アルカリ	95	22	△ 73	-：販売数量の減少、在庫受払差の悪化、修繕費などの固定費増加 +：ナフサ・石炭等原燃料価格の下落
機能商品	386	378	△ 8	労務費や償却費などの固定費が増加
エンジニアリング	336	381	44	売上高の増加など
その他	29	35	6	
合 計	989	900	△ 89	



連結業績推移

(単位：億円)

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度 (予想)
売上高	9,186	10,644	10,056	10,634	10,100
営業利益	1,440	746	798	989	900
経常利益	1,605	900	959	1,030	940
親会社株主に帰属する当期純利益	1,079	503	573	580	300
為替レート [TTM期中平均]	(円/USD) 112.4	135.5	144.6	152.6	150.0
	(円/EUR) 130.6	141.0	156.8	163.9	173.9
国産ナフサ	(円/KL) 56,625	76,625	69,100	75,625	64,525
ベンゼン	(USD/T) 994	994	914	953	670~730
PVC	(USD/T) 1,373	965	777	745	600~660
VCM	(USD/T) 1,208	835	643	595	450~510
液体苛性ソーダ	(USD/T) 515	636	412	479	400~460
MDI (モノメリック)	(USD/T) 2,585	2,260	2,012	1,930	1,650~1,750
MDI (ポリメリック)	(USD/T) 2,466	2,074	1,668	1,893	1,650~1,750



株主還元

株主還元方針：2025～2027年度

- ・総還元性向50%を基本とする

年間1株100円（下限）配当を実施し、配当性向が50%未満であれば

自己株式取得により総還元性向を50%にする

- ・追加的株主還元として、3ヶ年で500億円の自己株式を取得する

<参考>

		23年度	24年度	25年度 (予想)	25年度 (前回予想※)
1株当たり配当金（円）	中 間	40.00	50.00	50.00	50.00
	期 末	45.00	50.00	50.00	50.00
	合 計	85.00	100.00	100.00	100.00
1株当たり当期純利益（円）		180.07	182.13	94.93	119.53
配当性向（%）		47.2	54.9	105.3	83.7

※25/11/04公表値

●25年度配当予想は年間100円/株 : 25/5/13公表値から変更なし

●25年度自己株式250億円（上限）取得

参考



連結売上高・営業利益 - 中期経営計画の事業ポートフォリオ別 (前年同期比)

連結売上高

	24年度 1Q-3Q	25年度 1Q-3Q	(単位：億円) 増減
チェーン事業	4,938	4,427	△ 511
基礎素材	3,939	3,448	△ 491
付加価値素材	999	979	△ 20
先端事業	2,627	2,739	112
バイオサイエンス	513	496	△ 17
高機能材料	960	971	11
水処理エンジニアリング	1,153	1,271	118
その他	392	395	3
合 計	7,957	7,561	△ 396

連結営業利益

	24年度 1Q-3Q	25年度 1Q-3Q	(単位：億円) 増減
チェーン事業	290	184	△ 106
基礎素材	123	2	△ 121
付加価値素材	167	181	15
先端事業	418	471	53
バイオサイエンス	175	162	△ 13
高機能材料	45	48	2
水処理エンジニアリング	197	261	64
その他	38	44	6
合 計	746	699	△ 47



連結売上高・営業利益 - 中期経営計画の事業ポートフォリオ別 (業績予想)

連結売上高

	24年度	25年度 (予想)	増減
チーン事業	6,525	5,843	△ 682
基礎素材	5,205	4,548	△ 658
付加価値素材	1,320	1,296	△ 24
先端事業	3,583	3,717	134
バイオサイエンス	689	685	△ 4
高機能材料	1,272	1,282	9
水処理エンジニアリング	1,622	1,750	128
その他	525	539	14
合 計	10,634	10,100	△ 534

(単位：億円)

25年度(予想) 内訳	
上期	下期
2,937	2,906
2,280	2,268
657	638
1,796	1,921
325	360
646	636
824	926
259	281
4,991	5,109

連結営業利益

	24年度	25年度 (予想)	増減
チーン事業	359	241	△ 117
基礎素材	141	△ 11	△ 152
付加価値素材	218	252	35
先端事業	576	604	27
バイオサイエンス	212	195	△ 17
高機能材料	53	48	△ 5
水処理エンジニアリング	311	360	49
その他	54	56	1
合 計	989	900	△ 89

(単位：億円)

25年度(予想) 内訳	
上期	下期
103	138
△ 7	△ 4
110	143
316	287
106	89
37	11
174	186
28	27
447	453

«注意事項»

本資料の計画は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想です。従いまして、今後の国内外の経済情勢や予測不可能な要素等により、実際の業績は計画値と大幅に異なる可能性があります。